

長期防食MIO塗料

フェロドール

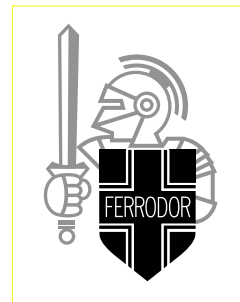


関西ペイント

特徴と種類・塗料性状

特 徴

1. 塗り重ねる塗料との層間付着性が優れている。
MIO顔料の特性により、塗膜表面に適度な粗さがあるので、層間付着性が優れています。
2. ユニークなメタリック感のある仕上げが得られ、耐候性に優れる。
上塗りとして用いた場合には、MIO顔料特有のメタリック感のある仕上がりとなり、曝露されるに従って金属的な輝きを増します。
3. 厚塗り性が優れている。
厚塗り性に優れているので、耐久性の向上、塗装回数の削減が可能になります。



フェロドールはMIOの鎧で素材を守る
(Ferrous Doll)

種類と塗料性状

項目		種類	フェロドールF			フェロドールEPX		
系統			フェノール樹脂系			エポキシ樹脂系		
荷姿			20Kg			20Kg (ベース18.5Kg、硬化剤1.5kg)		
適用下塗塗料			JISさび止め塗料各種			ジンクリッチペイント エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗		
適用上塗塗料			合成樹脂調合ペイント 塩化ゴム系塗料			塩化ゴム系塗料、エポキシ樹脂系塗料、 ポリウレタン樹脂系塗料、 ふっ素樹脂系塗料など		
塗装条件	使用シンナー		塗料用シンナー A			テクトEPシンナー		
	希釈率 (重量%)	はけ	0 ~ 5%			0 ~ 10%		
		スプレー	5 ~ 15%			0 ~ 10%		
	エアレス 塗装条件	二次圧	10MPa (100Kg/cm ²) 以上			10MPa (100Kg/cm ²) 以上		
標準チップ		No.163T-617 ~ 621			No.163T-619 ~ 623			
乾燥・塗装間隔など	温度		5℃	20℃	30℃	5℃	20℃	30℃
	乾燥時間	指触	2時間	1時間	40分	5時間	3時間	2時間
		半硬化	16時間	6時間	4時間	16時間	10時間	8時間
	塗装間隔	最短	40時間	16時間	16時間	24時間	16時間	16時間
		最長	12ヶ月	12ヶ月	12ヶ月	12ヶ月	12ヶ月	12ヶ月
使用時限		-	-	-	24時間	8時間	4時間	
耐熱温度	瞬間		150℃			200℃		
	長時間		80℃			100℃		
適用膜厚			40 ~ 80 μm			40 ~ 200 μm		

塗装仕様例

1. 塩化ゴム系塗料仕上げの場合

工程	塗料・処置	標準膜厚 (μm)	標準塗付量 (g/m^2)	塗装方法	塗装間隔	
					最短	最長
工場	素地調整	ブラスト処理 ISO Sa2 1/2				4H
	プライマー	メタラクトH15	(15)	130	スプレー	4H 3M
	二次素地調整	電動工具処理 ISO St-3				4H
	下塗り	ラスゴンセーフティ (K)	35	170	スプレー	8H 6M
	下塗り	ラスゴンセーフティ (K)	35	170	スプレー	8H 6M
	中塗り	フェロドールF34	45	300	スプレー	72H 12M
現地	中塗り	ラバテクトN中塗	35	170	はけ	16H 1M
	上塗り	ラバテクトN上塗	30	150	はけ	16H -

2. ポリウレタン樹脂塗料仕上げの場合

工程	塗料・処置	標準膜厚 (μm)	標準塗付量 (g/m^2)	塗装方法	塗装間隔	
					最短	最長
工場	素地調整	ブラスト処理 ISO Sa2 1/2				4H
	プライマー	SDジンク1000	(15)	200	スプレー	24H 10M
	二次素地調整	ブラスト処理 ISO Sa2 1/2				4H
	下塗り	SDジンク1500A	75	600	スプレー	48H 6M
	ミストコート	エポマリンプライマー	-	160	スプレー	16H 3M
	下塗り	エポマリンプライマー	60	300	スプレー	16H 3M
	中塗り	フェロドールEPX34	50	300	スプレー	16H 12M
現地	中塗り	セラテクトU中塗	30	140	はけ	16H 10D
	上塗り	セラテクトU上塗	25	120	はけ	16H -

注) 塗装間隔 H:時間、D:日、M:月

注) 工場塗装後、長期間放置した際などは現地塗装に入る前に被塗面に付着した異物(ゴミ・汚れ等)を除去し清潔な面にしてください。海上輸送・海浜地域・汚染物の付着する環境下で保管した際は高圧水洗等を用いて付着物を除去してください。

注) 標準塗付量は弊社の標準的な値です。ユーザーの指示などがある場合には指示内容を優先してください。

注) フェロドールFの塗装間隔については、製品説明書を参照してください。

3. 上塗りとして用いる場合

工程	塗料・処置	標準膜厚 (μm)	標準塗付量 (g/m^2)	塗装方法	塗装間隔	
					最短	最長
工場	素地調整	ブラスト処理 ISO Sa2 1/2				4H
	プライマー	メタラクトH15	(15)	130	スプレー	4H 3M
	二次素地調整	電動工具処理 ISO St-3				4H
	下塗り	ラスゴンセーフティ (K)	35	170	スプレー	8H 6M
	下塗り	ラスゴンセーフティ (K)	35	170	スプレー	8H 6M
	中塗り	フェロドールF34	45	300	スプレー	16H 12M
	上塗り	フェロドールF34	45	300	スプレー	16H -

色見本とばくろによる変化

フェノール樹脂
MIO

エポキシ樹脂
MIO

フェロドールFの顕微鏡写真 (×100)



F 33



EPX 33



塗膜断面

(塗膜中で白く輝いているのがMIOです。)

注) フェロドールFは、上の顕微鏡写真に示すとおり、ばくろされるに従って塗膜表面にMIO顔料が露出してきますので、色見本より冴えたメタリック感のある仕上がりとなってきます。



F 34

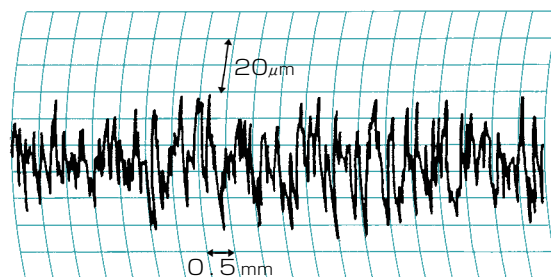


EPX 34

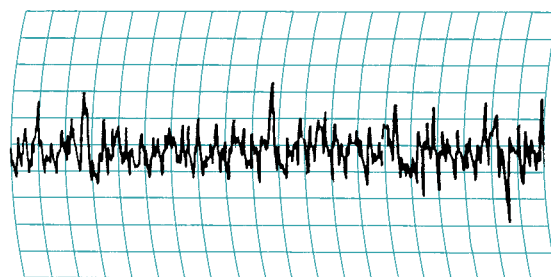
注) 天然産のMIO顔料を使用していますので、色合いがこの色見本と若干ずれることがあります。また、塗装方法・膜厚などで仕上がり感が若干異なる場合があります。

塗膜の表面粗度比較 工場地区2年間屋外ばくろ

フェロドールEPX (エポキシMIO塗料)



エポマリンプライマー (エポキシ樹脂下塗塗料)



使用上の注意事項

- 1) フェロドールを鋼板に直接塗装しても防食性能は期待できません。防錆力のある下塗と組み合わせてご使用ください。
- 2) はけ塗りでは、透けが生じることがあります。スプレー塗装を推奨いたします。
- 3) フェロドールFの場合
 - ・さび止め塗料との塗り重ね塗装間隔は30日以内としてください。(チヂミが発生することがあります)
 - ・フェロドールFの乾燥が十分で無い場合もチヂミが発生することがあります。特に冬季には塗装間隔を長くしてください。
- 4) フェロドールEPXの場合
 - ・乾燥過程で降雨や結露などの水の影響を受けると表面が白化することがあります。表面のみの変色であれば、塗膜性能に特に問題はありません。
- 5) フェロドールを塗装後、長期間経過してから仕上げ塗装を行う場合には、表面の汚れや塩分を除去してください。(塩分濃度 50mg/m²以下)

・フェロドールFは開缶して時間を経ると塗料表面に皮張りすることがあります。できるだけ使い切るようにしてください。皮張りした塗料については、表面の皮を除去して使用してください。

製品取扱上の注意事項(安全衛生他)

フェロドール EPX の成分であるエポキシ樹脂および硬化剤に用いるポリアミドは、皮ふおよび粘膜に対する刺激作用があります。また、吸入したり直接皮ふに触れると中毒や炎症を起こすおそれがあります。

■下記の注意事項を守ってください。

■詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

- 予 防 策**
- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護めがね・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
 - 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
 - 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
 - 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
 - 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
 - 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
 - 本来の目的以外に使用しないこと。
 - 指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
 - 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
 - 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
 - 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
 - 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 対 応**
- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
 - 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
 - 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
 - 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
 - 漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
 - 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保 管**
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
 - 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
 - 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃 棄**
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壤等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）
- 施工後の安全**
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

消防法による危険物

製品種別	消防法による危険物	有機溶剤
フェロドールF	第2石油類	第3種
フェロドールEPX	ベース	第1石油類
	硬化剤	第1石油類



関西ペイント株式会社

関西ペイント販売株式会社

本 社 〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12-1
TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934

北海道販売部 〒061-3244 北海道石狩市新港南2丁目718-4
TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757

東北販売部 〒983-0004 仙台市宮城野区岡田西町3-40(KSCビル)
TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073

北関東信越販売部 〒321-0953 宇都宮市東宿郷4丁目2-24(センターズ・ビルディング1F)
TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223

松本営業所 〒390-0833 長野県松本市双葉10番22号(双葉町ビルB棟2階202号)
TEL (0263) 26-3377 FAX (0263) 26-3322

新潟営業所 〒950-0088 新潟市中央区万代5丁目7-2(シアース万代 西309)
TEL (025) 246-3347 FAX (025) 241-9442

前橋営業所 〒371-0804 前橋市六供町1丁目13-1(YK第1ビル)
TEL (027) 243-0388 FAX (027) 243-0396

東京販売部 〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12-1
TEL (03) 5711-8902 FAX (03) 5711-8932

横浜営業所 〒235-0036 横浜市磯子区中原1丁目2-31-204
TEL (045) 761-7390 FAX (045) 761-7395

川越営業所 〒350-1123 川崎市羽田本町13-22(仲ビル5F)
TEL (049) 243-4351 FAX (049) 243-4356

静岡営業所 〒422-8008 静岡市駿河区栗原12-9
TEL (054) 262-4747 FAX (054) 262-0330

中部販売部 〒460-0007 名古屋市中区新栄1丁目29-25
TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981

三重営業所 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1804-5
TEL (059) 397-3313 FAX (059) 397-4887

大阪販売部 〒541-0042 大阪市中央区今橋2丁目6-14
TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603

神戸営業所 〒650-0022 神戸市中央区元町通6丁目1-8(東栄ビル702)
TEL (078) 367-1281 FAX (078) 367-1283

北陸営業所 〒924-0013 石川県白山市番匠町50-1
(金沢G) TEL (076) 275-7200 FAX (076) 275-7900

北陸営業所 〒930-0004 富山市桜橋通り2-25(富山第一生命ビル)
(富山G) TEL (076) 432-0109 FAX (076) 432-0189

中国販売部 〒732-0052 広島市東区光町1丁目12-16
TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285

岡山営業所 〒700-0972 岡山市北区上中野1-16-2
TEL (086) 245-9455 FAX (086) 245-9460

四国販売部 〒763-8510 香川県丸亀市土器町北2丁目88
TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950

高知営業所 〒780-8007 高知市仲田町2-28
TEL (088) 831-1577 FAX (088) 831-2528

九州販売部 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3丁目5-8
TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

北九州営業所 〒807-0811 北九州市八幡西区洞北町2-10
TEL (093) 601-1336 FAX (093) 601-1371

熊本営業所 〒861-4101 熊本市南区近見8丁目14-66
TEL (096) 358-4011 FAX (096) 358-4014

鹿児島営業所 〒891-0113 鹿児島市東谷山1丁目73-13
TEL (099) 266-2960 FAX (099) 266-2962

沖縄営業所 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客3丁目9-1(勢理客産業ビル4F)
TEL (098) 870-8782 FAX (098) 870-8652

ご用命は